

○第1回久米南町小中一貫校開校準備委員会 概要

開催日時：令和5年7月25日（火） 午後6時28分～午後8時12分

会場：久米南町教育委員会会議室

出席者：委員17名（熊谷委員 服部委員 沼本委員 井口委員 清水史郎委員
大倉委員 中村委員 立石委員 清水泰治委員
石坂委員 福田委員 山中委員 菅原委員 青木委員
山本委員 近藤委員 田村委員）

事務局 4名

欠席者：1名（日笠委員）

委員の委嘱、教育長挨拶、委員紹介後、委員長・副委員長の選出に入り、委員長に熊谷委員、副委員長に中村委員が選出され、議事に入る。

審議事項（1）久米南町小中一貫校開校準備委員会の概要説明について
事務局から資料1～資料3を用い説明。
委員からの意見、質問等なし。

審議事項（2）久米南町小中一貫校開校準備委員会専門部会の設置について
事務局から資料4～資料8を用い説明。

委員 カリキュラム部会について、「学校経営」という言葉の「経営」という言葉は一般的に学校について使うのですか。

委員長 「経営」というと一般的にマネジメントだと思いますが、「学校経営」という言葉は学校現場では使われます。ただ、コミュニティスクールという形で保護者や地域の人が参画して行うのは学校運営協議会という言い方をします。違和感があるかもしれませんが「経営」という言葉は使われます。

委員 各部会の委員は、前もって言ってくれないと推薦しにくい。みんな仕事もあってなかなか保護者でも集まれないし、会議にも出にくい。今回も、説明されて準備委員会がこういうもので、部会で詳細を話し合っただけというのかわかったので、資料だけでも先に欲しい。

委員長 第1回目ということでなかなか全ての資料が揃わなかったりと難しかった点もあったと思いますが、全体のスケジュールが出されていますので参考にしていただければ予定が立ちやすいかなと思います。この中でも急ぐのが施設・備品部会ということで来月からスタートということになります。

委員 専門部会の委員の推薦の仕方は。

事務局 まずは、この準備委員会で三つの専門部会の設置のご承認を頂いてからと考えておりました。ご承認を頂けましたら、施設・備品部会の委員さんの

推薦依頼を、PTA や保護者会の会長さんをお願いする予定としておりました。今この場に準備委員会の委員として、会長さんもおられますが、会長さんではない方もおられます。会長さんにはわかってもらえたと思うのですが、会長さんではない方は、PTA や保護者会の会長さんとの情報共有のご協力をお願いします。

委員長 当たり前のことですがこの準備委員会で部会の設置が認めてもらえないとスタートできないということです。認められれば、特に急ぐのが施設・備品部会ということです。

事務局 今年度については、施設・備品部会の委員の推薦をお願いします。あと二つの部会は来年度からの活動予定ですので、改めて推薦依頼をさせていただきます。

委員 施設について予算の関係もあると思いますが、役場との調整は。

事務局 財政担当課とは連絡を密にして進めてまいります。

委員長 専門部会で全てを決めて行くわけではなくて、部会で協議・検討した内容を準備委員会に報告し、方向性を決めて行きます。ですので、お互い連携しながら進めて行きましょう。

委員 基本設計を国に出す期限は。

事務局 来年の5月です。今年中に素案を部会で固めて頂いて、年が明けてから手直しを入れていく計画です。

委員 夏休みに入って、なかなか保護者同士で相談ができないのが厳しい。

委員 経験上備品についてはいろいろな調整が必要だと思えますが。

事務局 今年度については施設中心です。

委員 どのくらいの間隔で開催予定ですか。

事務局 施設・備品部会でご意見を頂きたいのが、まずは学校を建設する位置です。設計業者が決まりましたので、たたき台の図面の作成依頼をしております。それを見てご意見をと考えております。こういう教室が必要ではとか、スペースとか。お盆明けにたたき台が出来る予定です。準備が整いしだいお知らせしてご意見を頂き手直しまたご確認頂くというふうに進めて行く予定です。ただ間隔と言われますとまだはっきりとは申し上げることはできません。申し訳ございません、ご了承ください。

委員 設計業者は部会に出席しますか。

事務局 オブザーバ的な立場で同席するように計画しています。

委員 規則第7条第3項の専門部会の人数ですが、35名を超えているようですが。

事務局 今回の構成表の方々にご協力いただきたいので、規則を改正したいと思いますが皆様いかがでしょうか。

委員 規則の改正を求めます。

委員長 規則の改正をしてください。他にご意見はございませんか。無いようでしたらせつかく第1回目にご出席いただいたので、委員の皆さんお一人お一人から、久米南町の一貫校にどんなことを求めるか、ご意見をお聞きしたいと思います。このご意見が、今後の専門部会に繋がっていくと思いますので、ではお願いします。

委員 新しい学校を作っていくということで、多様な意見を吸い上げて、夢のある地域とともに活力ある学校を目指したい。皆さん力を合わせましょう。

委員 いよいよ一つになるということで、歴史的にも大変な事。地域に知らせることはもちろんだけれども、久米南町から出た人もおられます。いろんな手段でお知らせして欲しいと思います。新しい学校は、記憶に残る校舎を。

委員 まだまだ勉強不足を感じています。

委員 私も勉強不足を感じています。教育長の言われた令和型の学校教育と言う言葉が心に残っています。皆さんについていけるよう頑張ります。

委員 中学校と小学校が共有できる目標を立てることが必要だと思います。また、新校舎は防災拠点、避難場所として使えるような施設を望みます。

委員 久米南町に帰ってくる仕組みが無い。あの学校があるから帰りたいなと思ってもらえるような学校を。カリキュラムはSDG sを取り入れて欲しい。

委員 小中学校の友達を身近に感じている。困ったときに帰れる場所を。地域学を通して、知らない人がいない地元を作って欲しい。

委員 小中一貫良いんじゃないかなと思っていますし、期待しています。考えながらする授業が増えていて、いろんな意見を聞くことが必要です。また帰ってこれる環境づくりが大切だと思います。

委員 見慣れた光景はすごく落ち着く。卒業して良かったなという学校づくり。

委員 子どもどうしが密。縦の関係が無い。この関係性を大切にしたいカリキュラムを。また地元との関係が薄れないようにしたい。

委員 コロナでいろんな方々のご意見を聞く機会が無かったので、改めて聞いて本当に良かったです。久米南町の子供と最後に接するのが中学校で責任を感じています。中学校としてのアピールや地元企業さんとの連携をもっともっていきたいです。

委員 年々児童数が減ってきていて、一クラスが少ない学年があります。それはそれで楽しく仲良く学んでいます。また統合を楽しみにしている子がたくさんいます。友達が増えるということに期待をしています。開校までまだまだと考えるか、あとちょっとと考えるか。統合したときたくさんの方々と勉強することが楽しいなと思えるような学校にしたいです。学校が無くなるとい

うことで寂しい思いをされている人も多いと思います。そこをどう繋げていけるか。地域を愛する子供たちを育てていけるか、皆さんと考えたいです。

委員 それぞれの小学校は、人と人とは温かく繋がっています。それを大切にしながら、またいろいろなご意見を取り入れ、今までのやり方も見つめ直しながら進めていきたい。

委員 今日非常にいろんなことを考えることが出来たと思っています。統合を控え、地元の子供たちだけではなく、久米南町の子供たちを考えないといけないなど感じています。また地域の方、保護者の方が統合に関し大きな思いを持っておられることが分かりました。また、積極的な情報発信が大切です。

委員 地域が大好きな子供を育てたい。小中一貫校のメリットを最大限に生かした学校づくりを。

委員 第12回の最後はどんな感じで終わるんだろうかと考えたとき、開校に向けて大人は期待、子供は希望をもって終わるのが一番だと思います。現実には課題がいっぱいでも、子供たちのために最高の状態を大人たちが責任をもって作る。そういう準備委員会になったらなと思います。

委員長 皆さんの熱い思いありがとうございました。開校に向けご協力よろしく申し上げます。